

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話03 (5332) 3971 (代表)
FAX03 (5332) 3972
発行人・編集人
三木 勉

印刷部数11万1900部
(購読料は組合費のなかに含まれています)
(年間購読料 千八百円)
定価 五十円

けんせつ

東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

コロナ禍での経済要求署名

第3次補正予算に向けて、消費税率5%への減税や建設需要の活性化など私たちの仕事と生活を守る経済要求を柱とした署名です。1月までの取り組みで組織数の署名が目標です。ご協力ください。

来年1月現勢を1%実増で迎えよう、第3ラウンド(11月、12月)の拡大行動を取り組んでいます。12月10日時点で778人を拡大、拡大率0.68%の到達です。実増をめざして年内最後まで奮闘が求められています。

仲間の相談を組合へ

1%増勢めざす第3ラウンド

立吉中国実増で新年迎えよう

府日 仲間の情報を頼りに訪問

府中国立支部日吉分会は12月8日、2021年を実増で迎えようと仲間づくり行動を取り組みました。この日、セクターとして借りている昆分會財政部長の事務所には8人集まりました。参加者はコロナ感染防止の手指消毒と検温を済ませ、夫婦で参加している吉見さんご主人、オルグの渡邊副委員長、水川書記次長の3人が先発隊として組合員を訪問しました。

支部事務所でのカレッジのことなど相談をと勧め、後日、仕事が終わってから未加入者と一緒に来所してくれることになりました。



事業所を訪ね対話する磯貝委員長 (左)

文京 「ぜひ申請したい」

期限迫るコロナ給付で対話

【文京・書記・吉川豊通信】12月8日の午後、年末の事業所訪問を行いました。コロナの影響で、通常の行動が制限される中でしたが、磯貝委員長を先頭に組合内事業所7カ所を訪問しました。

例年であれば年末の実増を見据え、年内の加入予定を確実に聞き取り、旗開きへのお誘いなどで対話をするところですが、旗開きは中止。今回は期限が迫るコロナ給付などについて「ぜひ、申請の仕方をお教えしてほしい」といった声が聞かれました。

現状では、激しく売り上げが落ち込んで汲々としている状況ではないものの、先行きの不透明感是非常に大きいものがあります。今できるコロナ対策支援で、組合がしっかりと役割を果たすことが改めて重要だと感じました。



カレッジに入れたい子がいると話す滝島さん(左)

【本部・田村彰宏記】12月2日、全建総連は厚労省保険局交渉を18人の参加で行ない、保険局からは森田国保課長ら4人が対応しました。

コロナの影響に配慮を

全建総連が保険局と交渉

来ているが、財務省との折衝はまさにこれからが正念場。しっかりと確保するものは確かならなければ、保険局から年度予算の確保の見通しについて、「コロナの影響で夏の概算要求から例年にならぬ形(事項要求等)で保し、可能であれば少しでも前進できるよう努力したい」と一方、裁量的経費について「昨年同様項目別で確保できるように努力していきたい」と参加者からは、医療費動向に絡め、「コロナの影響で受診控えによる医療費の落込みについて配慮してほしい」。

普通調整補助金への激変緩和措置では、「来年度も継続してほしい」等の求めがあり、最後に森田課長から、「皆さまから強い気持ちをお聞かせいただいた。できる限りの知恵と足を使って努力していきたい」との予算確保に向けた力強い決意が表明され、要請を終了しました。

朝やけ

第3波の拡大が止まらないなか、専門家で組織した政府分科会までがGOTO事業の一時停止を提言していた。「やめたら経済に甚大な悪影響がある」と聞く耳を持たなかった菅首相だが、年末年始を迎え一時停止を決めた。しかし遅すぎた感が否めない。この間の報道各社の世論調査では政府のコロナ感染対策と内閣の支持率が低下。総選挙を控えて政権与党としても危機感があるはずだが、なぜGOTO事業に固執するのだろうか。

毎日新聞編集委員の伊藤智永さんが、ある国際ジャーナリストの言として、日本は感染拡大中でも旅行や飲食をやっていたと世界にアピールし、東京五輪に訪日客を呼び込むための予行演習と実績づくりであろうと述べていることを紹介し、「『コロナ五輪』大演習に命をかけて協力させられているのか」と疑問を呈している。「コロナ五輪」のために、医療従事者の処遇改善や体制強化、中小事業者や個人事業者への支援、失業者の住居確保などの直接的な支援はおさなりにするのだろうか。

医療崩壊が始まろうとしていると各地から伝えられている。GOTO事業のアクセルから足を離すべきだ。ブレーキと踏み間違える高齢者の自動車事故のような悲惨な結果は避けてもらいたい。